

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月1日

【四半期会計期間】 第60期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社 白青舎

【英訳名】 HAKUSEISHA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 内田 隆

【本店の所在の場所】 東京都千代田区岩本町一丁目3番9号

【電話番号】 03(5822)1561

【事務連絡者氏名】 取締役 執行役員 本社管理本部長 西川 君一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区岩本町一丁目3番9号

【電話番号】 03(5822)1561

【事務連絡者氏名】 取締役 執行役員 本社管理本部長 西川 君一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第1四半期 連結累計期間	第60期 第1四半期 連結累計期間	第59期
会計期間			
売上高 (千円)	2,401,217	2,463,416	9,722,693
経常利益 (千円)	93,982	91,309	454,839
四半期(当期)純利益 (千円)	63,293	58,521	296,234
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	6,155	204,616	429,575
純資産額 (千円)	5,745,747	6,293,070	6,169,167
総資産額 (千円)	7,496,917	8,240,339	8,024,197
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	7.84	7.25	36.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	76.6	76.4	76.9

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、ハクセイサービス株式会社(連結子会社)を平成25年4月1日付で吸収合併いたしました。当社グループ(当社及び連結子会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

この結果、平成25年6月30日現在における当社グループは、当社及び連結子会社1社の合計2社により構成されております。

また、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

以下の記載事項のうち、将来に関する事項につきましては、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末に安倍政権が積極的な金融緩和政策を発表した後、その政策への期待から為替相場は円安に傾き、株式市場では平成25年5月に日経平均株価が一時1万5千円台となるなど、景況感は好転しております。しかしながら、社会保険料率の上昇や来春に予定されている消費税増税などの不安材料が景気動向や企業業績にどのような影響を与えるか、不透明な状況で推移しております。

ビルメンテナンス・警備業界におきましては、景気の先行きが不透明な状況を反映して、ビルや対象物件の管理・サービスに係るコストを抑制する傾向はさらに強まっております。新規物件においては入札や既存業者との相見積もり、既存物件においては顧客からの仕様変更や減額要請などにより、受注価格は下落傾向にあります。また、取引高シェアの高い百貨店・小売業界において、消費税増税に向けての構造改革が進められることが予測され、当社グループを取り巻く環境はより一層厳しくなるものと予想されます。

このような経営環境の下、当社グループでは、経営資源の集中と効率化並びに営業力の強化を図るため、平成25年4月1日付で連結子会社のハクセイサービス株式会社を吸収合併し、新たな組織で新規業務、スポット業務及び既存のお客様からの追加業務の獲得を目指し、営業活動を展開いたしました。

その結果、神奈川県工場における清掃業務や京都府の一般ビルの常駐警備業務、さらに神戸・京都の百貨店における機械警備業務を受注することができました。しかしながら、お客様のコスト削減要請は強く、仕様変更・見直しによる減額や解約も一部発生いたしました。

費用面におきましては、退職給付費用や業務ソフトウェアの改修費用など、合併に伴うイニシャルコストが増加いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は、24億6千3百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益5千3百万円(同17.8%減)、経常利益9千1百万円(同2.8%減)、四半期純利益5千8百万円(同7.5%減)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

関東エリア

関東エリアにおきましては、神奈川県のある工場における清掃業務などを受注することができましたが、解約や失注も発生いたしました結果、売上高は12億1千6百万円(前年同四半期比0.9%減)、セグメント利益(経常利益)は1億8千6百万円(同0.4%増)となりました。

関西エリア

関西エリアにおきましては、京都・神戸の百貨店における機械警備業務や京都のオフィスビルにおける常駐警備業務の新規受注により、売上高は10億6千4百万円(前年同四半期比2.7%増)、セグメント利益(経常利益)は1億7千2百万円(同8.6%増)となりました。

中部エリア

中部エリアにおきましては、静岡の百貨店における警備業務の新規受注により、売上高は1億8千2百万円(前年同四半期比32.6%増)となりました。しかしながら、組織変更に伴う費用の増加があったことから、セグメント利益(経常利益)は6百万円(同21.1%減)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億1千6百万円増加して82億4千万円となりました。このうち流動資産は、1億2千2百万円減少して40億7千4百万円となりました。これは主として、有価証券が2億円減少したことによるものであります。また、固定資産は前連結会計年度末に比べ3億3千8百万円増加して41億6千6百万円となりました。これは主として、投資有価証券が3億3千1百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9千2百万円増加して19億4千7百万円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べ1千2百万円増加して10億4千4百万円となりました。また、固定負債は前連結会計年度末に比べ7千9百万円増加して9億2百万円となりました。これは主として、固定負債の退職給付引当金が1千6百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円増加して62億9千3百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が1億4千6百万円増加したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

(5)従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6)生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7)主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び前連結会計年度末における主要な設備に関する計画からの著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,000,000	9,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株 であります。
計	9,000,000	9,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年 6月30日		9,000,000		450,000		385,637

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 928,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,028,000	8,028	
単元未満株式	普通株式 44,000		
発行済株式総数	9,000,000		
総株主の議決権		8,028	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式631株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社白青舎	東京都千代田区岩本町 一丁目3番9号	928,000		928,000	10.31
計		928,000		928,000	10.31

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、公認会計士小林英、公認会計士安彦潤也両氏による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,873,416	2,917,632
受取手形及び売掛金	925,647	916,359
有価証券	200,000	-
商品及び製品	17,765	16,477
原材料及び貯蔵品	23,240	22,404
その他	157,696	201,974
貸倒引当金	1,247	785
流動資産合計	4,196,518	4,074,062
固定資産		
有形固定資産		
土地	831,226	831,226
その他(純額)	494,076	488,794
有形固定資産合計	1,325,303	1,320,021
無形固定資産		
のれん	15,750	11,812
その他	6,017	15,053
無形固定資産合計	21,767	26,865
投資その他の資産		
投資有価証券	1,543,742	1,875,040
その他	940,317	947,798
貸倒引当金	3,450	3,450
投資その他の資産合計	2,480,609	2,819,389
固定資産合計	3,827,679	4,166,277
資産合計	8,024,197	8,240,339
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,640	173,854
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	123,944	36,152
賞与引当金	132,816	49,761
その他	527,571	734,864
流動負債合計	1,031,971	1,044,632
固定負債		
退職給付引当金	397,441	413,513
負ののれん	68,427	58,171
その他	357,189	430,952
固定負債合計	823,058	902,637
負債合計	1,855,029	1,947,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	395,509	395,509
利益剰余金	5,216,960	5,194,768
自己株式	267,760	267,760
株主資本合計	5,794,709	5,772,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374,458	520,552
その他の包括利益累計額合計	374,458	520,552
純資産合計	6,169,167	6,293,070
負債純資産合計	8,024,197	8,240,339

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,401,217	2,463,416
売上原価	2,112,113	2,168,081
売上総利益	289,103	295,334
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	56,393	53,203
賞与引当金繰入額	9,336	12,743
のれん償却額	3,937	3,937
その他	154,263	171,860
販売費及び一般管理費合計	223,930	241,745
営業利益	65,173	53,589
営業外収益		
受取利息	1,584	2,350
受取配当金	5,648	6,108
負ののれん償却額	11,560	10,255
匿名組合投資利益	6,200	6,502
受取補償金	-	8,213
雑収入	4,886	5,037
営業外収益合計	29,879	38,468
営業外費用		
支払利息	1,056	735
雑損失	14	13
営業外費用合計	1,070	749
経常利益	93,982	91,309
特別利益		
固定資産売却益	-	47
特別利益合計	-	47
特別損失		
固定資産廃棄損	164	8
特別損失合計	164	8
税金等調整前四半期純利益	93,817	91,348
法人税等合計	30,524	32,826
少数株主損益調整前四半期純利益	63,293	58,521
四半期純利益	63,293	58,521
少数株主損益調整前四半期純利益	63,293	58,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,138	146,094
その他の包括利益合計	57,138	146,094
四半期包括利益	6,155	204,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,155	204,616

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
連結の範囲の重要な変更 前連結会計年度末において当社の連結子会社でありましたハクセイサービス株式会社は、平成25年 4 月 1 日付で当社が吸収合併したため、当第 1 四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第 1 四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
受取手形		892千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
減価償却費	13,123千円	11,353千円
のれんの償却額	3,937千円	3,937千円
負ののれんの償却額	11,560千円	10,255千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	72,642	9.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月25日 取締役会	普通株式	80,713	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	関東エリア	関西エリア	中部エリア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,227,205	1,036,254	137,758	2,401,217		2,401,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	1,227,205	1,036,254	137,758	2,401,217		2,401,217
セグメント利益	185,354	158,402	8,324	352,082	258,099	93,982

(注)1 セグメント利益の調整額 258,099千円には負ののれん償却額11,560千円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用等 269,660千円が含まれており、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般
 管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	関東エリア	関西エリア	中部エリア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,216,019	1,064,711	182,686	2,463,416		2,463,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	1,216,019	1,064,711	182,686	2,463,416		2,463,416
セグメント利益	186,013	172,098	6,571	364,683	273,374	91,309

(注)1 セグメント利益の調整額 273,374千円には負ののれん償却額10,255千円、各報告セグメントに配分してい
 ない全社費用等 283,630千円が含まれており、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般
 管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、平成25年4月1日付で連結子会社であるハクセイサービス株式
 会社の吸収合併を機会に、組織間のコミュニケーション力の向上、意思決定のスピード化、業務効率化の観点
 から、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の業務カテゴリーによる「ビルメンテ
 ナンス事業」「警備事業」から、エリアをベースとした「関東エリア」「関西エリア」「中部エリア」
 に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したも
 のを記載しております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間
(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

共通支配下の取引等

(1) 企業結合の概要

結合当事企業の名称及びその事業の内容

名称：ハクセイサービス株式会社

事業の内容：主として、東京、静岡、名古屋地区でビルメンテナンス事業を展開しております。

企業結合日

平成25年4月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社、ハクセイサービス株式会社を消滅会社とする吸収合併方式

結合後企業の名称

株式会社白青舎

その他取引の概要に関する事項

当社グループは、本合併により、経営資源の集中と効率化並びに営業力の強化をより一層向上させていくことを目的としております。

(2) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引等の会計処理を行っております。

(1 株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円84銭	7円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	63,293	58,521
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	63,293	58,521
普通株式の期中平均株式数(株)	8,071,369	8,071,369

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

平成25年4月25日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	80,713,690円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年6月28日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月30日

株式会社 白 青 舎
取締役会 御中

小林英公認会計士事務所

公認会計士 小 林 英

安彦潤也公認会計士事務所

公認会計士 安 彦 潤 也

私たちは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社白青舎の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

私たちは、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

私たちが実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社白青舎及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。